



EXTRA, EXPERT AND EXTREME EXPRESS--

2008 VOL.
2



Photo by H.Wakita(c)

**手島雄介が全日本初となるトップグリッドをマーク!
選ばれた24人のライダーによる
国内最高峰のバトルを見逃すな!!**



雨量の増した予選2回目でも1分01秒286と驚異の速さを見せた秋吉耕祐が2番手



緒戦に続きフロントロウを獲得した酒井大作

INFORMATION

ライブトークショーはステージイベント盛りだくさん!



<ライダートークショー>
●日時: 5月11日(日) ①12:55~(JSB1000)
②16:00~(優勝ライダーズスペシャルステージ)
●場所: メインスタンド・最終コーナー側ステージカー

<キャンギャルオンステージ>
●日時: 5月11日(日) ① 9:15~ ②15:00~
●場所: メインスタンド・最終コーナー側ステージカー

※イベントは、天候その他の理由により、予告なしに変更・中止になる場合があります。あらかじめご了承ください。

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

10:00	GP-MONO コースイン~選手紹介	
10:15	GP-MONO 決勝レース.....	18Laps
11:00	ST600 コースイン~選手紹介	
11:15	ST600 決勝レース.....	25Laps
12:00 - 12:50	ピットウォーク ※バドックバスをお持ちの方なら、どなたでも無料で参加OK!!	
13:00	GP125 コースイン~選手紹介	
13:15	GP125 決勝レース.....	25Laps
14:05	JSB1000 コースイン~選手紹介	
14:20	JSB1000 決勝レース.....	30Laps
15:15	GP250 コースイン~選手紹介	
15:30	GP250 決勝レース.....	25Laps
※レース終了後~サーキットクレーズング(第1コーナー手前左側テントで受付/9:00~12:00)		

QUALIFYING PRACTICE REPORT

レインコンディションの予選を見事に制した手島雄介 秋吉、酒井、亀谷、中須賀、山口も虎視眈々。タディは、まさかの低迷



勢揃いした各クラスのポールシッター。(左から)GP125菊池寛幸、JSB1000手島雄介、GP250関口太郎、ST600高橋英倫、GP-MONO谷川壮洋



POLE POSITION 手島 雄介 1'01.150

『予選がドライだったら厳しいかな、と思っていたが、ダンロップのおかげもあり、ヒントが見つかって、マシン作りができてきた。初めてのポールポジション獲得まで時間がかかってしまったが、地元の筑波で取れたのが嬉しい。決勝は中途半端な天気じゃなければ、雨でも晴れでもどちらでもいい。昨年は転倒してからマシンに乗ることが少なかったが、今年は開幕前にテストの機会を多くもたせてもらい、走り込むことができた。08マシンを乗りこなすために今後、少しでも自分のスタイルに合ったマシンに仕上げ、ワークスライダーとして、しっかりしたポジションにいられるようにしたい。悩みを抱えながら一生懸命やってくれているスタッフに、恩返しできるようなレースがしたい。もちろん決勝は「勝つ」という気持ちです』



- 予選日：天候／雨 路面／ウェット
- 決勝コースイン／14:05 スタート／14:20(30周)

1周を僅か約1分で回る筑波サーキットは全日本ロードレースで一番タイトなコース。ライダーに休む間を与えず常に集中力を要求するサーキットでもある。筑波ラウンドのJSB1000クラスは安全性を高めるためにグリッド数を昨年の13列33台から8列24台となった。ST600クラスが30台、GP250クラス、GP125クラス、GP-MONOクラスは36台となっているだけに、JSB1000クラスのレースが、いかに狭き門なのかが分かるだろう。まさに選ばれたライダーしかグリッドに着けないのだ。

金曜日のA.R.T.合同走行は快晴となり開幕戦でも公式予選まで抜きん出た速さを見せた秋吉耕佑が自身の持つコースレコード(56秒140)に迫る56秒199をマーク。これに安田毅史の代役で登場した“タディ”こと岡田忠之が2番手に付け、3番手に亀



2列目6番グリッドからスタートする高橋孝臣

谷長純、4番手に横江竜司、5番手に酒井大作、6番手に山口辰也、7番手に中須賀克行、8番手に大崎誠之と56秒台で続いていた。

コースレコードの更新が期待されたが公式予選は天候が一転、空からは冷たい雨が降りレインコンディションでのタイムアタックとなった。

A組では秋吉がいきなり1分01秒台をマーク、2番手以下を大きく引き離しトップにつける。その走りを見ていた伊藤真一に“あいつだけ別次元だな”と言わせるほど、鋭いブレーキングを1コーナーで見せていた。続くB組では手島雄介がセッションをリード。徐々にタイムを削り、最後に秋吉を上回る1分01秒150をマークする。酒井大作、亀谷長純、山口辰也も1分01秒台で続き、B組の方がタイムが拮抗していた。午後になると雨と共に風が強くなり気温も下がる難しいコンディション。秋吉はダンロップコーナーで転倒を喫するもののダメージはなく再びA組トップに着ける。中須賀もレインのセットを詰め1分01秒台に突入した。高橋孝臣が大健闘の3番手に付け、徳留が4番手となった。

雨の予選は手島が全日本で初めてポールポジションを獲得する結果となった。ドライではやや苦戦していた手島だったが、ウェットでは見違えるほど安定した速さを見せた。“筑波はふるさとみたいなもの。決勝は勝つことだけを考えている”と自信をのぞかせていた。ワークスチーム入り2年目、そろそろ結果を出しておきたいところだ。



シード権を行使し、最後尾からスタートする岡田

コンディションに左右されず豪快な走りを見せている秋吉、開幕戦のウィナー中須賀、さらに酒井、亀谷、山口なども表彰台の中央を虎視眈々とねらっている。筑波は得意という伊藤真一も決勝になれば、走る度にペースを上げてくるはず。昨年のウィナー柳川明、徳留、大崎誠之なども上位に絡んできそう。天気がどうなろうと、激戦が繰り広げられることは間違いない。

一方、予選A組1回目に15番手に沈んでいた岡田は、よりウェットセッティングを進めて臨んだ2回でも接地感のなさに苦しみ低迷。決勝はシード権を行使し、最後尾からスタートすることになった。ドライコンディションならば、怒濤の追い上げを見せてくれるはずだ。

[佐藤 寿宏]

KOTOBUKI'S
幻のレコードを
マークした高橋巧
タイトル獲得に向けて
今回は正念場

開幕戦を制しノリノリになっているGP250の高橋巧。マシンを完全に支配下に置き、まさに“ノ”している状態だった。このレースウィークの金曜日マシン、ライダーともに別次元のライディングを見せ、中野真矢が1998年に記録したコースレコード(57秒430)を破る57秒389をマークしていた。残念ながら公式記録には残らないがライバルを圧倒する速さは目を見張るものがあった。しかし、予選で落とし穴があった。攻めの走りを見せていたが、1コーナー立ち上がりでリアをすべらせると、タイヤのグリップが回復したところでマシンから放

り出されてしまう。この転倒で骨には異常はなかったものの右ヒザの靭帯を痛めてしまう。タイトルを獲得するためには少しでも多くのポイントを獲得しておきたいところ。決勝には痛み止めを打って臨むという“巧の意地”に注目して欲しい。



JSB1000 CLASS STARTING GRID



●予選日:天候/雨 路面/ウェット
●決勝コースイン/11:00 スタート/11:15(25周)

POLE POSITION INTERVIEW

高橋英倫が得意の筑波で今季初ポールをGET!



POLE POSITION 高橋 英倫 1'03.717

「ドライコンディションの時にはセッティングが出せていないが、予選2回目でなんとか帳尻を合わせ、ポールポジションを取ることができた。でも、雨でも1分2秒台を出さなければだめだと思う。決勝は天気が予想できないので、マシンセッティングは2パターン考えている。開幕戦のもてぎでは(トップ争いは)動きがわかるメンバーだったけど、若手が加わったらどうなるかわからない。4メーカーが入り乱れて、面白いレースになりそう」

ST600 公式予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	2	高橋 英倫	1'03.717	TEAM GREEN
2	1	小西 良輝	1'03.939	急募.com HARC-PRO.
3	5	武田 雄一	1'03.980	HITMAN RC甲子園ヤマハ
4	7	岩田 悟	1'04.161	F.C.C.TSR
5	8	寺本 幸司	1'04.154	PLOT FARO パンテラー
6	4	野田 弘樹	1'04.345	テルル・ハニーベレーシング
7	20	東浦 正周	1'04.214	DAIICHI&プラスミュ
8	33	苅田 庄平	1'04.350	RS-ITOH&KAZE
9	70	佐竹 隆幸	1'04.337	チームOSG&モトスポーツ
10	72	宮崎 敦	1'04.615	TEAM DAYTONA GIVI
11	18	高橋 江紀	1'04.624	KEIHINKoharaR.T.
12	13	泉本 真宏	1'04.767	RT森のくまさん佐藤塾
13	76	清水 直樹	1'04.823	RS-ITOH&KAZE
14	73	小林 龍太	1'04.814	急募.com HARC-PRO.
15	22	新垣 敏之	1'04.944	Team ARA 虎の穴
16	77	出口 修	1'04.868	DyDo MiU Racing
17	39	新庄 雅浩	1'05.059	MotoMap SUPPLY
18	61	川原 英実	1'04.955	G-TRIBE☆獣Kemono
19	10	稲垣 誠	1'05.143	バーニングブラッドRT
20	23	福田 拓也	1'05.060	チームOSG&モトスポーツ
21	55	國川 浩道	1'05.160	DyDo MiU Racing
22	54	井上 哲悟	1'05.121	GRACERACINGTEAM
23	43	生形 秀之	1'05.170	エス・ハルスドリームレーシング
24	83	須見 義行	1'05.226	チームドゥカティレーシングジャパン
25	60	古畑 博志	1'05.429	レーシングチームハニービー
26	91	シルバダニエル	1'05.231	Danielレーシングサンビシ
27	14	森 新	1'05.474	CLUB HARC-PRO.
28	21	中山 真太郎	1'05.303	Kohara RC
29	86	中村 勇志	1'05.513	ビレリ・丸富オート
30	57	横山 耕二	1'05.441	CLUB HARC-PRO.

※JSB1000、ST600、GP125は、2グループのコンディションが異なったため、各グループのアタマ取りによってグリッドが決定しました。

全日本ロードレース選手権

GP125 youth CUP に注目しよう!

17歳以下の選手を対象にGP125クラスに設定されている『youthCUP(ユースカップ)』。今大会にはそこから13名のライダーがエントリーしている。予選では大金佑輝、尾野弘樹、山田誓己がセカンドロウに並び、健闘を見せている。また、緒戦で3位表彰台に上がり、レッドブルMotoGPルーキーズカップ第3戦ポルトガルで初優勝を飾った日浦大治朗の活躍にも注目だ。



【前列】左から、山田 誓己、大久保 光、山本 剛大、日浦 大治朗、藤井 謙汰、日浦 徹、尾野 弘樹
【後列】左から、中本 翔、渡辺 一馬、石崎 司也、矢作 雄馬、大金 佑輝、尾野 郡司

●予選日:天候/雨 路面/ウェット
●決勝コースイン/13:00 スタート/13:15(25周)

POLE POSITION INTERVIEW

ベテラン菊さま 予選を完全制覇! 決勝も支配できるか!?



POLE POSITION 菊池 寛幸 1'04.542

『事前テストで車体の方向性を変えて、それがうまくいき、ドライでもウェットでも、微調整だけでいい感じに仕上がるようになった。今シーズンはチームを移籍し、僕のこれまでの経験を活かしている。チームのおかげで、今は楽しく乗れている。若手も大治朗を筆頭に力を伸ばしている。これからは僕ら(ベテランの)いる場所も変わってくると思うが、レースに年齢は関係ない。『まだまだお前には負けへんよ』というところを見せたいね』

GP125 公式予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	8	菊池 寛幸	1'04.542	F.C.C.TSR
2	7	山田 亮太	1'05.450	TEAM PLUS ONE
3	2	徳留 真紀	1'05.086	チーム テック・2
4	37	★大 佑輝	1'05.506	ENDURANCE&桶川塾
5	14	★尾野 弘樹	1'05.619	BATTLE FACTORY
6	81	★山田 誓己	1'05.506	伊藤RACING-GMDスズカ
7	16	★渡辺 一馬	1'05.650	TEAM PLUS ONE
8	15	古市 右京	1'05.544	TEAM ASPIRATION
9	6	柳沢 祐一	1'06.034	18 GARAGE RACING TEAM
10	1	岩田 裕臣	1'05.640	DyDo MiU Racing
11	78	★大久保 光	1'06.660	桶川塾&ENDURANCE
12	46	★日浦 大治朗	1'05.753	Team NOBBY
13	22	★矢作 雄馬	1'06.858	桶川塾&ENDURANCE
14	10	竹内 吉弘	1'05.761	プロマチックアイMS&YUE
15	50	★尾野 都司	1'06.877	BATTLE FACTORY
16	56	★山本 剛大	1'05.868	Team NOBBY
17	73	小室 旭	1'07.209	SQUAREプロジェクトハルク
18	45	加藤 洋治	1'05.928	CLUB FR5
19	47	森 隆嘉	1'07.227	TEAM PLUS ONE
20	4	仲城 英幸	1'06.130	TeamProjectuFRS
21	11	浪平 伊織	1'07.293	Honda鈴鹿レーシングチーム
22	48	★中本 翔	1'06.286	RTOUTRUNwithASS
23	31	今中 満	1'07.498	team RISKY
24	26	小磯 栄	1'06.495	モトアルファ&大洗サーキット
25	33	村田 憲彦	1'07.655	CLUBY's☆J-OFFICE
26	62	佐藤 正之	1'06.843	Team i-FACTORY
27	53	人見 研吾	1'07.739	プロマチックアイMS&YUE
28	31	花房 一樹	1'06.860	チーム テック・2
29	28	天野 邦博	1'07.829	Honda狭山レーシングチーム
30	18	菅谷 慎一	1'06.962	TEAM PLUS ONE
31	44	福島 宏幸	1'07.890	team RISKY
32	43	坂井 幸雄	1'07.057	TeamSMOKY&ぼん太
33	63	★石崎 司也	1'07.941	KTR&たかだ農園
34	34	★日浦 徹	1'07.245	Team NOBBY
35	25	長谷川 稔	1'08.205	team RISKY
36	51	★藤井 謙汰	1'07.531	F.C.C.TSR

●予選日:天候/雨 路面/ウェット
●決勝コースイン/15:15 スタート/15:30(25周)

POLE POSITION INTERVIEW

関口太郎がウェットの予選を制す! 満身創痍の高橋巧は10番手



POLE POSITION 関口 太郎 1'03.018

『前日のA.R.T.走行では、決勝に向けていいアベレージで走れるポイントを探していたが、フィリングは悪くないが想定より遅かった。予選が晴れていたなら改善したいと思っていたが、雨だったのでネガティブな部分が出なかった。決勝は雨でもいい晴れてもいいが、前回のもてぎは1周目で転倒してしまったので、そういうことのないようにしたい。JSBのレースが終わっても『250があるから見て帰ろう』とお客さんが楽しみに思うようなレースにしたい』

GP250 公式予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	32	関口 太郎	1'03.018	Henkel プラスムー
2	5	濱本 裕基	1'03.927	SP忠男レーシングチーム
3	11	渡辺 一樹	1'04.332	RT森のくまさん佐藤塾
4	56	山崎 都	1'04.363	HITMAN R甲子園ヤマハ
5	41	宇井 陽一	1'04.590	SEV.spruce/PRO-TEC
6	3	及川 誠人	1'04.741	WILL-ACCESS&SJR
7	48	富沢 祥也	1'05.088	TeamProjectuFRS
8	26	依田 幸久	1'05.127	TeamDankeRacing
9	10	及川 玲	1'05.138	ベータグラム&(株)嶺岡M-Racing
10	2	高橋 巧	1'05.268	バーニングブラッドRT
11	46	星野 知也	1'05.301	WINJACK&4413
12	24	水野 那由太	1'05.354	テック2レーシング
13	21	福山 京太	1'05.356	TeamDankeRacing
14	12	伊藤 勇樹	1'05.949	DOG FIGHT RACING
15	53	久保山 正朗	1'06.426	HONDA浜友会浜松Eスカルゴ
16	75	高杉 奈緒子	1'06.439	DREAM高崎B'WISE RT
17	14	中本 都	1'06.513	RT-OUTRUNwithASS
18	93	遠藤 卓実	1'06.673	SEV.spruce/PRO-TEC
19	19	小口 理	1'06.736	ALLMAN&OWR小口歯科
20	76	柴原 誠	1'06.988	k-max racing + 翔RT
21	37	島村 英一郎	1'07.764	SP-V・駒津歯科・ikbs・GBS
22	25	前川 泰志	1'07.885	ロケット-けろたん

●予選日:天候/雨 路面/ウェット
●決勝コースイン/10:00 スタート/10:15(18周)

POLE POSITION INTERVIEW

国内ライセンスの谷川壮洋がP.P. 2番手にも国内の林



POLE POSITION 谷川 壮洋 1'06.764

『レインコンディションは得意な方なので、単独でもタイムを出すことができた。ドライのセッティングがバリエーションと決まっているかわからないので、決勝もできればウェットで戦いたい。気になるのは、モリワキの2台と、岡田くん、安村くん、あとは若手の比企くん。予選タイムも僅差なので、決勝はきっとゴチャゴチャになると思う。チーム内では『初老』と呼ばれているので、この年でポールポジションを取れたのはうれしいですね(笑)』

GP-MONO 公式予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	26	谷川 壮洋	1'06.764	TEAM PLUS ONE
2	71	林 達也	1'06.925	teamA-A-O&MOTOBUM
3	2	中本 亮輔	1'07.074	モリワキクラブ
4	9	岡田 義治	1'07.186	K&LJAPAN・RH松島
5	45	長島 哲太	1'07.286	TeamProjectuFRS
6	18	比企 徹	1'07.319	DyDo MiU Jr.
7	3	乃村 康友	1'07.333	モリワキクラブ
8	11	安村 武志	1'07.393	テック2レーシング
9	8	山本 晃大	1'08.092	M-KID'S
10	151	吉道 竜也	1'08.280	レーシングチームハニービー
11	34	山田 俊樹	1'08.384	バーニングブラッドRT
12	44	貝崎 圭典	1'08.425	バーニングブラッドRT
13	55	吉島 正治	1'08.468	RH松島MS&YUE=YG55
14	74	斎藤 幸大	1'08.484	ウイングヨシユ
15	95	瀬古 直樹	1'08.524	ZIPBIKE&TOS-R
16	392	伴 善之	1'08.662	MIKUNI-iBeat Husky Project
17	50	矢田 栄一朗	1'08.949	CLUB モトM
18	48	根村 拓歩	1'08.972	18 GARAGE RACING TEAM
19	16	赤間 清	1'08.991	CLUB HARC-PRO.
20	30	繁野 明治	1'09.407	ホットバンクUSA&GET HOT
21	19	江崎屋 学	1'09.846	IS-P.CC/プリミティブR
22	21	小畑 仁	1'09.956	MOTO WIN RACING
23	46	高橋 哲也	1'10.301	ウイニングラン
24	25	楠元 晃一	1'10.903	Garage130R&Jr's
25	38	加藤 秀峰	1'10.944	結城レーシング
26	24	伊東 忠孝	1'11.062	青空レーシングライドスポーツ
27	37	小山 隆浩	1'11.243	18 GARAGE RACING TEAM
28	52	川村 明	1'11.356	MOTO WIN RACING
29	20	三好 菜摘	1'12.721	クラブ プラスワン&rsp
30	41	十川 翔	1'12.776	青空レーシングライドスポーツ
31	77	手塚 隆司	1'12.835	ウルフマン&港北測量
32	49	坪川 浩明	1'12.849	propman.jp長谷川鉄筋
33	43	増田 顕也	1'12.989	クラブM+松田塾+翔RT